

### 3 中学校「国語」

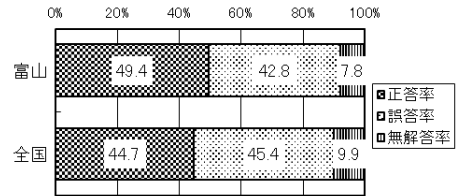
#### (1) 問題番号1四 <正答率が低い問題>

学習指導要領における内容：1学年 A話すこと・聞くことオ

評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：記述式

**【出題の趣旨】** 話合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

- ・正答率は49.4%で、全国平均より4.7ポイント高いが、全問題中4番目に低い。
- ・誤答については、実際に話すように書くことはできているが、条件1、2のいずれかを満たしていない解答が31.9%（全国32.0%）である。



**四 「話し合いの一部」** 山岡さんの最後の発言を受けて、あなたならどのような考えを述べますか。次の条件1と条件2にしたがって、実際に話すように書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 フィルターバブル現象の特徴について取り上げながら、これからのように本を選びたいかを具体的に書くこと。

条件2 「話し合いの一部」の誰の発言と結びつけるかが分かるように書くこと。

**1** 山岡さんたちは、国語の時間に、「フィルターバブル現象の資料」と「話し合いの一部」を読んで、あとの問いに答えなさい。

**【話し合いの一部】**

藤田さん：私は、この前、インターネットで和菓子作りの本を探して購入しました。そのあと、インターネットを利用するたびに、和菓子作りに関する本が表示されるようになって、次に読みたい本もすぐに見付かりました。

今井さん：たくさんの本がある中で、自分の好みに合った本を選んで示してくれるのは、便利ですね。でも、他の本の情報に触れにくくなっていると感じませんでしたか。

藤田さん：そうですね。言われてみれば、和菓子作りに関する本がたくさん表示されていたので、最近、それ以外の本の情報にあまり触れていなかった気がします。(図)のこのあたりにいるような感覚ですね。今井さんは、ふだんどうやって本を選んでいるのですか。

今井さん：私は、図書館や書店で本を選んで、読みたい本を見付けるのには時間がかかりますが、本棚を眺めていると、思いがけない本との出会いがあって興味が出ると感じています。

藤田さん：図書館や書店でいろいろな本棚を眺めながら本を選ぶと、時間はかかっても、情報が偏るような状態にはならないでしょうね。

山岡さん：そういえば、インターネットでも様々な人がおすすめの本を紹介しているウェブページがありますよ。そこで紹介されている本は、本を探している人の好みによって選ばれているわけではないので、フィルターバブル現象の影響は受けにくいのではないのでしょうか。

今井さん：そのような本の選び方は、学校図書館で、おすすめの本のコーナーから本を選ぶことに似ていますね。おすすめの本には、その本をすすめる人の好みや考えが反映されているので、自分とは異なる価値観に触れることもできますね。

山岡さん：フィルターバブル現象のことを意識すると、本の選び方についても改めて考えてみる必要があると感じました。皆さんは、これからのように本を選ぶほうと思いますか。

**【図】 フィルターバブル現象**

自分の好み情報だけに囲まれ、多様な意見から隔離されやすくなる現象。

(解説) インターネット上で検索したり閲覧したりした履歴が、使用した通信機器などに記憶され、解析されることで、その利用者の好み情報が優先的に表示されるようになる。一方で、好まないや判断された情報は、はじかれてしまう。このような、情報の偏りが生じたり多様な意見に触れにくくなる状態のことを「フィルターバブル現象」という。

例えば、野球についての検索を多くしていると、次第に野球に関する情報が優先的に表示されるようになる。

#### 学習指導上の留意点

- 話題や展開を捉えながら話し合い、発言を結び付けて自分の考えをまとめることができるようにする

話し合いにおけるいずれの段階においても、話題を意識しながらその経過を捉えて話したり聞いたりすることができるように指導することや、話し合いの展開に応じて、互いの発言を結び付け、話し合った内容を踏まえて自分の考えをまとめられるように指導することが大切である。

#### 指導のポイント

- ・グループで話題を決めて話し合い、その序盤で話題について共通理解したり、発言がある程度出された段階で内容を整理したりしながら、自分の考えをまとめる学習活動を設定する。
- ・自分の発言と他者の発言とを結び付けたり、他者同士の発言を結び付けたりして自分の考えをまとめ、自分の考えの基になった発言や話し合いの内容を整理して述べるように指導する。
- ・ICTを活用し、自分の考えが話し合いの話題や内容とどのように結び付いているのか、そのつながりが分かるようにまとめることができたかななどを、観点を示して振り返る場を設定する。

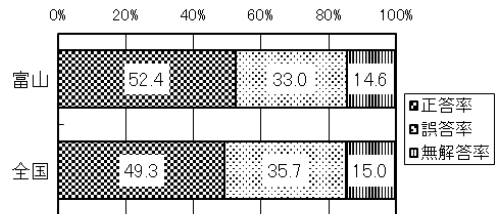
(2) 問題番号3四 <正答率が低く、無解答率が高い問題>

学習指導要領の内容：2学年 C書くことウ

評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：記述式

【出題の趣旨】 表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができるかどうかをみる。

- ・正答率は 52.4%で、全国平均より 3.1 ポイント高い。また、無解答率が 14.6%(全国 15.0%)と、全問題中最も高い。
- ・誤答については、書き出しに適切に続くように、表現を工夫して物語の最後の場面を書いているが、どのような効果があるのかを具体的に書いていない生徒が 23.2% (全国 26.2%) である。



**3**

佐藤さんは、国語の時間に、「体験をもとに、身近なものを登場人物にした物語を書く」という学習に取り組んでいます。次は、佐藤さんが構想をまとめた「フートの一部」と「物語の下書き」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。(「フートの一部」及び「物語の下書き」の1から4は、場面の番号を表します。)

フートの一部

(登場人物の設定)  
 ・「僕」……紙の詩書の持ち主(中学生)。  
 ・「世」……紙の詩書の持ち主(中学生)。  
 (もとにする体験)  
 ・小学4年生のとき、紙の詩書を机の上で読んでいた。  
 ・最近はおんライン詩書ばかり使っている。  
 ・紙の詩書を久しぶりに使った。  
 (物語を通して伝えたいこと)  
 紙の詩書を久しぶりに使って気付いたよき。  
 (各場面で伝えたい「僕」の心情)  
 ④ 忘れられるかもしれない不安。  
 ③ 久しぶりの出版で感じた喜び。  
 ② 次の出版への期待。

【物語の下書き】

① あの日は僕が、君の部屋の本棚の前でじっと待っていた。ほこりだけになりながら、中学生になつてから、君はオンライン詩書を使うようになった。以前はよく、印を付けておき、書き込みをしたりしてくれていた。君との距離は、ずいぶん遠くなってしまった。

② インターネットだと、複数の詩書にアクセスできるから、タブレット端末だけを持ち運べばよい。単語さえ入力すれば、すぐに取りたいものを教えてくれるし、かさばらないし。君にとっては、とても便利なのだろう。僕なんて、このまま忘れられてしまうのがな。

③ そう考えていたとき、君は僕の手を取った。学校にタブレットを置いてきたのだろうか。久しぶりだったから、僕はびっくりし、君は二つで大きく目を細めた。はこりだけの僕に顔をしかめなければ、何度もページを繰っては、いろいろ言葉の意味を調べていた。当然、いつもより周囲が気になっていた。湖べつは僕が知らない言葉ばかりでなく、近くにある言葉も僕を引く。意味を確認する君。遠く湖べつが終わっても、君は僕をいつも通りの顔で見てくれた。しばらくページを繰り、小学生のときに印を付けた言葉や書き込んだ言葉を読み返していた。君はふたたび顔を覗き込んでいた。僕は自分が認められたような気がした。

④ あの日から数日が過ぎた。

四 佐藤さんは、「物語の下書き」の□の部分で、「フートの一部」④の場面の「僕」の心情を伝えて物語を終えようとしています。あなたなら、どのように工夫して書きますか。次のア、イについて、それぞれ指示にしたがって書きなさい。なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

ア 「あの日から数日が過ぎた。」に続けて、表現を工夫して書きなさい。

イ あなたがアで書いた表現には、どのような効果があるのかを具体的に書きなさい。

**正答例**

ア (あの日から数日が過ぎた。)窓から差し込む光を浴びながら、今日も僕はいつもの場所で君を待っている。

イ 「窓から差し込む光を浴びながら」のように情景を描写することで、「僕」の期待感が印象的に伝わる。

学習指導上の留意点

- 自分の伝えたいことが伝わるように、表現の効果を考えて工夫して書くことができるようになる
  - ・用いた語句や表現が、文章の内容を伝えたり印象付けたりする上で、どのように働いているかを確かめながら、より効果的な語句や表現を選ぶことが大切である。

指導のポイント

- ・物語を創作する学習の中で、下書きした文章等を読み合い、どのようなことを伝えようとして各場面の内容を構想していたのか、自分の伝えたいことが伝わるような描写になっているのかなどを、説明したり確かめたりする学習活動を取り入れる。
- ・工夫したところや、ねらいたい効果、語順をなぜ変えたのかなどを書き留めさせ、振り返りに活用できるようにする。物語を書く中で、どのような効果をねらって、どのような表現の工夫をしたか、表現をより効果的にするためには、どのようなことが大切か、などの観点を示し、振り返ることができるように指導する。

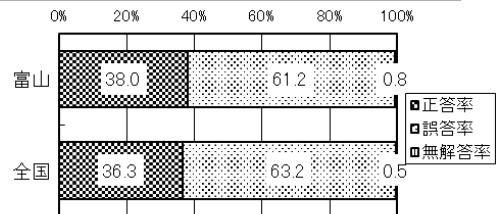
(3) 問題番号2一 <正答率が低い問題>

学習指導要領の内容：2学年 C読むことウ

評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：選択式

【出題の趣旨】 文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができるかどうかをみる。

- 正答率は38.0%で、全国平均より1.7ポイント高いが、全問題中最も低い。
- 誤答については、文章と図とを結び付けて読み、読み手が思い浮かべたり、具体的に捉えたりすることができるようにする役割をもつことを捉えられない生徒が52.1%（全国53.7%）である。



2

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

文章の内容については、調査問題をご覧ください。

（そのいけきんだけ園池公毅「植物の形には意味がある」による。）

1 実際の葉の形をたくさん思い浮かべることができるように補助する役割。

2 実際の葉の形とそれを表す言葉とを結び付けて捉えられるようにする役割。

3 葉の形を表す言葉を二つのグループに分けるやり方が複数あることを示す役割。

4 葉の形を表す言葉の中では厚み方向の形容が限定的であることの根拠を示す役割。

正答

1、2

学習指導上の留意点

○ 文章と図表等とを結び付け、内容の理解に生かすことができるようにする

図表や写真等を含む説明的な文章を読む際には、示されている図表等が、文章のどの部分と関連しているのかを確認するなどして、書き手の伝えたい内容をより正確に読み取ること、図表等を示すことで文章にどのような効果が生まれているのかを考えることが大切である。

指導のポイント

- パンフレットや雑誌の記事、ウェブサイトを示されている文章等、実生活の中にあるものを教材として取り上げ、文脈を踏まえた上で図表等がもつ役割について考える学習活動を設定する。
- 図表等が文章中にある場合とない場合とを比較し、図表等が示されていることによって何がどのように分かりやすくなるのかを説明し合うことで、筆者が図表等を用いた意図を考えるように指導する。
- 文章と図表等とを結び付けて解釈することと、図表等を用いて分かりやすく伝えることとを関連付けて指導する。